

地域とともに未来を拓くコミュニティスクール



八王子市立城山中学校
Shiroyama Junior High School

学校だより

令和6年度 第10号

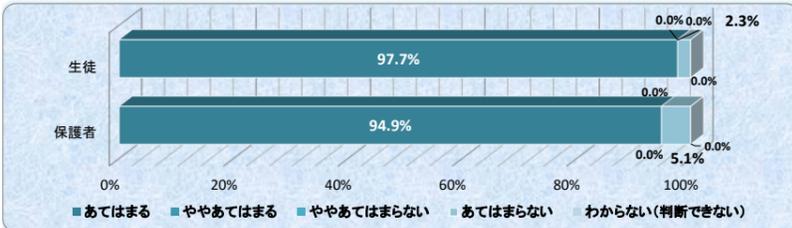
令和7年2月12日(水)

教育目標:学ぶ・鍛える・思いやる

令和6年度 後期 学校評価アンケート結果

保護者アンケート有効回答数⇒ 195名 78.3%

1) 学校の教育目標(「学ぶ」「鍛える」「思いやる」)を知っている。

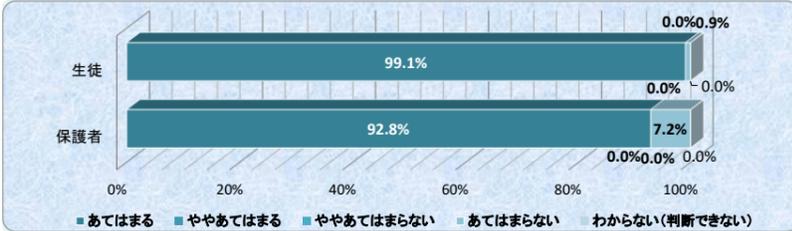


分析・コメント

	肯定的計	否定的計
生徒	97.7%	2.3%
保護者	94.9%	5.1%

今年度前期と比べ、生徒も保護者も肯定的な評価が増えました。保護者からの肯定的な評価の目標値を95%にしていたので、ほぼ達成したと捉えています。引き続き、95%以上の高い水準を維持できるよう、周知に努めていきます。

2) 学校が力を入れて行っている取組(生徒会活動・授業改善・小中一貫教育)を知っている。

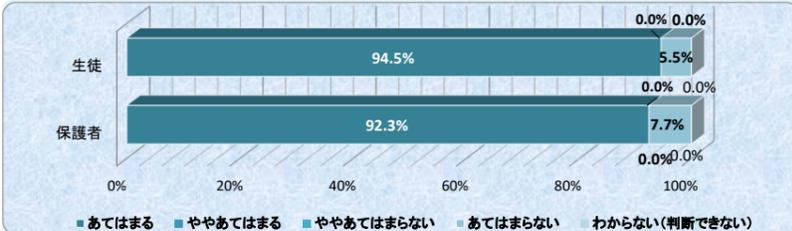


分析・コメント

	肯定的計	否定的計
生徒	99.1%	0.9%
保護者	92.8%	7.2%

今年度前期と比べ、生徒の肯定的な評価もさらに増えました。保護者からの肯定的な評価については、5ポイント以上上昇しました。今後も、生徒は95%以上、保護者も90%以上の水準を維持できるよう、学校だよりや学校ホームページ、ホーム&スクールなど、さまざまなツールを用いて、学校の取組を紹介していきます。

3) 学校が、城山小学校と合同で行う取組(体験授業・部活動体験)を知っている。

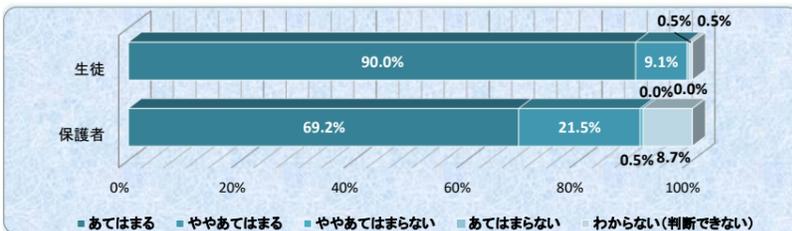


分析・コメント

	肯定的計	否定的計
生徒	94.5%	5.5%
保護者	92.3%	7.7%

今年度前期と比べ、生徒・保護者ともに、肯定的な評価割合がわずかに下降しました。ただ、今年度前期に10ポイント以上上昇した項目なので、今年度を通して90~95%の肯定的な評価をいただいたことは、小中一貫の取組が十分認知されていると考えます。次年度も引き続き、90~95%の水準の維持を目指します。

4) 学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。

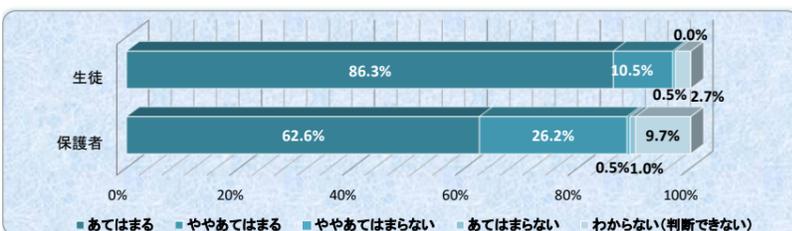


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	99.1%	0.5%	0.5%
保護者	90.8%	0.5%	8.7%

生徒・保護者ともに、90%以上の高い水準を維持することができました。災害は、忘れたころにやってきますので、これからも定期的に訓練を繰り返し、生徒の安全管理に努めていきます。また、安心して過ごせる学校づくりについては、友達や教職員との関わり方によっても変化しますので、教職員が一丸となって、安心して過ごせる学校づくりを目指していきます。

5) 学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。

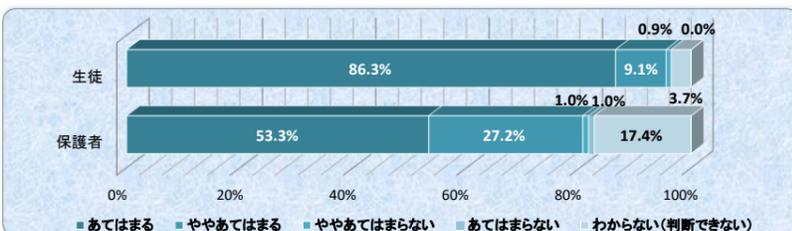


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	96.8%	0.5%	2.7%
保護者	88.7%	1.5%	9.7%

今年度前期と比べ、生徒・保護者ともに肯定的な評価割合が1~3%下降しました。特別の教科 道徳は、学校で取り組む道徳教育の要(かなめ)となるものであり、生徒の心を育て、自他の大切さを認め、自己有用感を育む上で、極めて重要であると考えます。これからも、道徳教育の充実に向けて取り組んでいきます。

6) 学校は、いじめの未然防止への取組、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。



分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	95.4%	0.9%	3.7%
保護者	80.5%	2.1%	17.4%

今年度前期と比べ、生徒・保護者ともに肯定的な評価割合が1~2%下降しました。「わからない」と回答している保護者もまだまだ多いと捉えています。学校だより1月号にも載せましたが、4~12月までのいじめ認知件数は25件ありました。これからも豊かな人との関りを体験させていくとともに、感度の高い認知をし、早期に的確な対応を図ることができるよう取り組んでいきます。

7)【保護者のみ】子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。

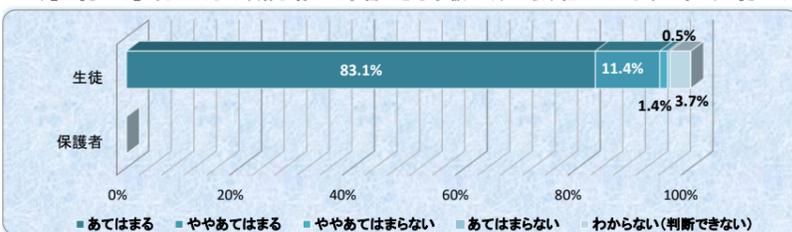


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	-	-	-
保護者	90.8%	2.6%	6.7%

今年度前期と比べ、肯定的な評価割合が約1ポイント上昇しました。日々の授業とともに、土曜日の学校公開や体育祭や合唱祭等の学校行事、宿泊行事等において、明確なねらいの達成を目指して、真剣に、そして楽しく学校生活を生徒たちが送ることができるよう、これからも教育活動を推進していきます。

7-2)【生徒のみ】先生たちは、落ち着いて学習できる学級づくりに取り組んでいますか。(生徒のみ)

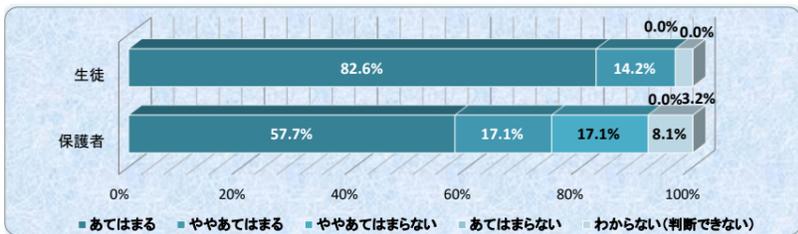


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	94.5%	1.8%	3.7%
保護者	-	-	-

今年度前期と比べ、生徒の肯定的な評価割合が約5ポイント下降しました。また、前期はゼロであった、「わからない」と回答する生徒が増えています。否定的回答はもとより、「わからない」との回答に対する対応を進めます。しかし、年間を通して約95%以上の水準は達成しているため、その学習環境を活かした成果に着目する時期に来ているのではと考えています。

8) 学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習用端末等を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。

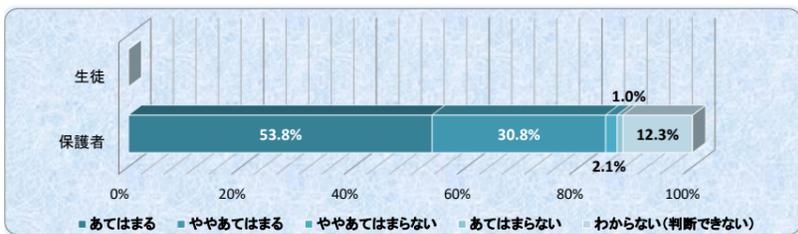


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	96.8%	0.0%	3.2%
保護者	74.8%	17.1%	8.1%

今年度前期と比べ、生徒の肯定的な評価割合がわずかに下降しました。また、保護者の肯定的な評価は約13ポイント下降しました。ICT機器の活用は定着期に入っているため、今後は、単元(授業で取り扱う内容のまとまり)指導計画に着目し、様々な授業形態やICT機器の活用を通して授業改善を図ってまいります。

9)【保護者のみ】学校は、子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。

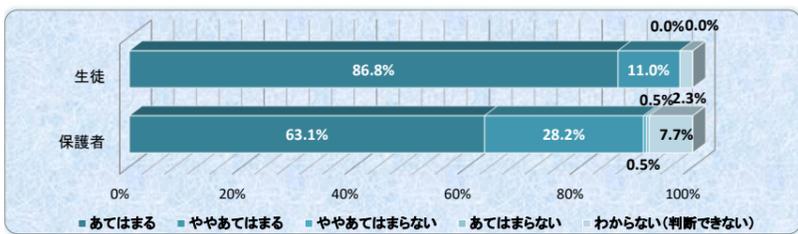


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	-	-	-
保護者	84.6%	3.1%	12.3%

今年度前期と比べ、保護者の肯定的な評価が約5ポイント上昇しました。この項目では、80%以上の肯定的回答を目指していたので、これだけ評価していただけた点については大変良かったと考えています。次年度も、適正で信頼される評価・評定のために、教員研修を積み重ねてまいります。

10) 学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。

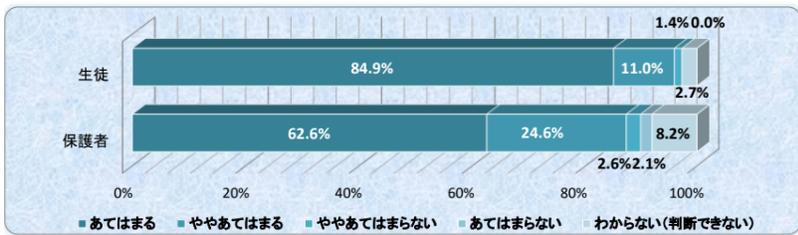


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	97.7%	0.0%	2.3%
保護者	91.3%	1.0%	7.7%

昨年度前期と比べ、生徒の肯定的な評価割合がわずかに下がりましたが、保護者の肯定的な評価割合については、90%水準を越えました。生活目標を設定することや、きまりを守ることは、それが目的ではなく、あくまでも生徒のよりよい学校生活のためです。今後も、何のためのきまりなのか、何のための目標設定なのか、引き続き指導を進めてまいります。

11) 学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。

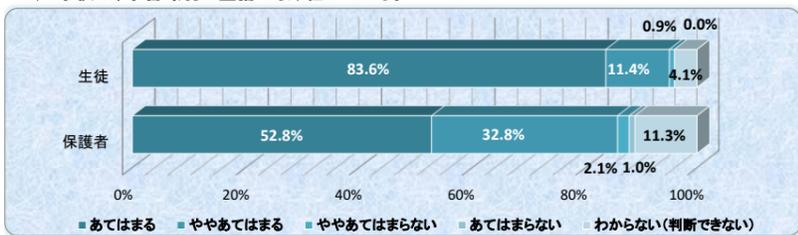


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	95.9%	1.4%	2.7%
保護者	87.2%	4.6%	8.2%

今年度前期と比べ、生徒の肯定的な評価割合が約1ポイント下がりましたが、保護者の肯定的な評価割合は約2ポイント上昇しました。中学校では自分のよさや可能性に気づき、生き方や将来について考えることを通して社会的・職業的自立の基礎づくりに取り組めます。

12) 学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。

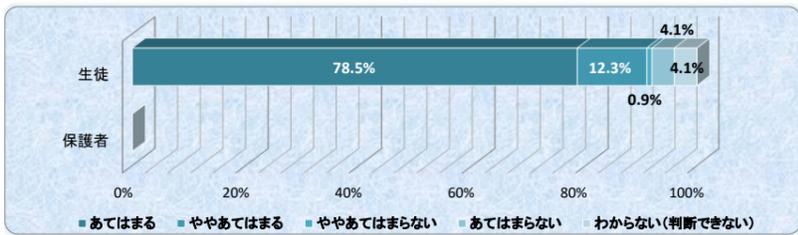


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	95.0%	0.9%	4.1%
保護者	85.6%	3.1%	11.3%

今年度前期と比べ、生徒の肯定的な評価割合はわずかに下がりましたが、保護者による肯定的な評価はわずかに上昇しました。体育館空調機設置など、教育委員会も学習環境整備に努めています。引き続き、自分たちで学習環境を整えたり、物を丁寧に扱う等の指導を進めてまいります。

13)【生徒のみ】あなたは、学校や生活の中でのことを最後までやり遂げてうれしかったことはありますか。

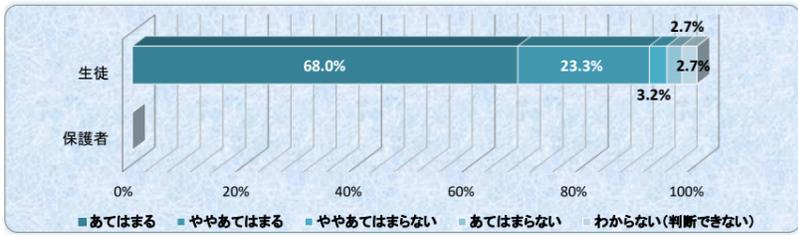


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	90.9%	5.0%	4.1%
保護者	-	-	-

今年度前期と比べ、肯定的な評価割合が約4ポイント下降しました。「あてはまる」生徒が約6ポイント上昇したことは良かったのですが、前回0%だった「わからない」と回答した生徒が増えています。また、前期・後期ともに否定的な回答が5%ほどあるので、引き続き、できる喜び、わかる楽しさを味わえる教育活動を進めてまいります。

14)【生徒のみ】あなたは、学校に行くのは楽しいですか。

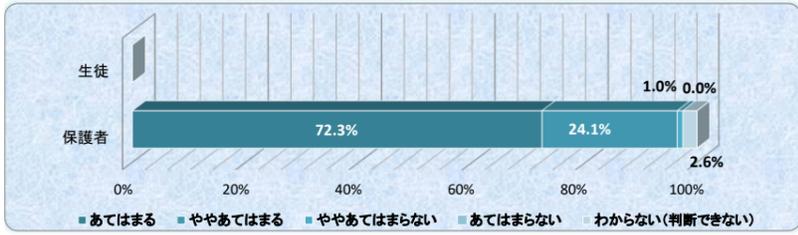


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	91.3%	5.9%	2.7%
保護者	-	-	-

今年度前期と比べ、肯定的な評価割合はほとんど同じでしたが、否定的な回答が約3ポイント減少しました。「わからない」と回答している生徒には、悩みや不安があったり、自分の判断に対する自信を持つことができていないことが考えられます。教職員一同、生徒の表情や態度を細かく確かめ、明日も行きたいと思える学校づくりを進めてまいります。

15)【保護者のみ】学校は、保護者に対して学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。

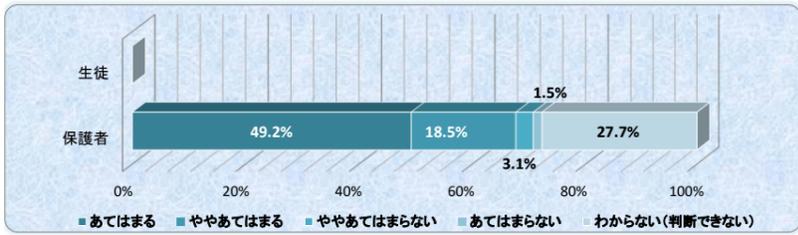


分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	-	-	-
保護者	96.4%	1.0%	2.6%

今年度前期と比べ、肯定的な評価割合が約2ポイント上昇しました。ホーム&スクールが有効利用できている点が大きいです。ホームページも定期的に更新しておりますので、まだ御覧いただけていない方はぜひ、今回を機にアクセスしてください。

16)【保護者のみ】学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対する教育)に取り組んでいる。



分析・コメント

	肯定的計	否定的計	わからない
生徒	-	-	-
保護者	67.7%	4.6%	27.7%

今年度前期と比べ、肯定的な評価割合が約3ポイント上昇しました。特別な支援を要する生徒が少ないので「わからない」の回答がまだ約3割にのぼる点が課題です。今年度は、登校支援教室を開設し、不登校生徒の居場所づくりに努めました。次年度は、登校支援のための巡回指導教員が配置される予定です。

《校長より》

学校評価は、生徒がより良い教育活動を楽しむよう、学校運営の改善と発展を目指すことを目的としています。そして、学校・家庭・地域の連携協力により、学校における教育活動の組織的・継続的な改善を通して教育水準の質の保証・向上を図るものとしています(文部科学省「学校評価ガイドライン」より)。

このことから、学校の計画と実践に対する生徒自身や保護者・地域の皆様からの御意見は大変重要な意味をもってきます。

また、今回の結果から評価・評定も含めた授業改善と特別支援教育に関する取組が重点としながら、各項目の分析により、教育活動の改善・充実を進めてまいります。

なお、今回は保護者の皆様からの御回答が79%となりました。年末の御多用の中にもかかわらず御回答いただきましたことに深く感謝申し上げますとともに、今後とも本校の教育活動に対する御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。